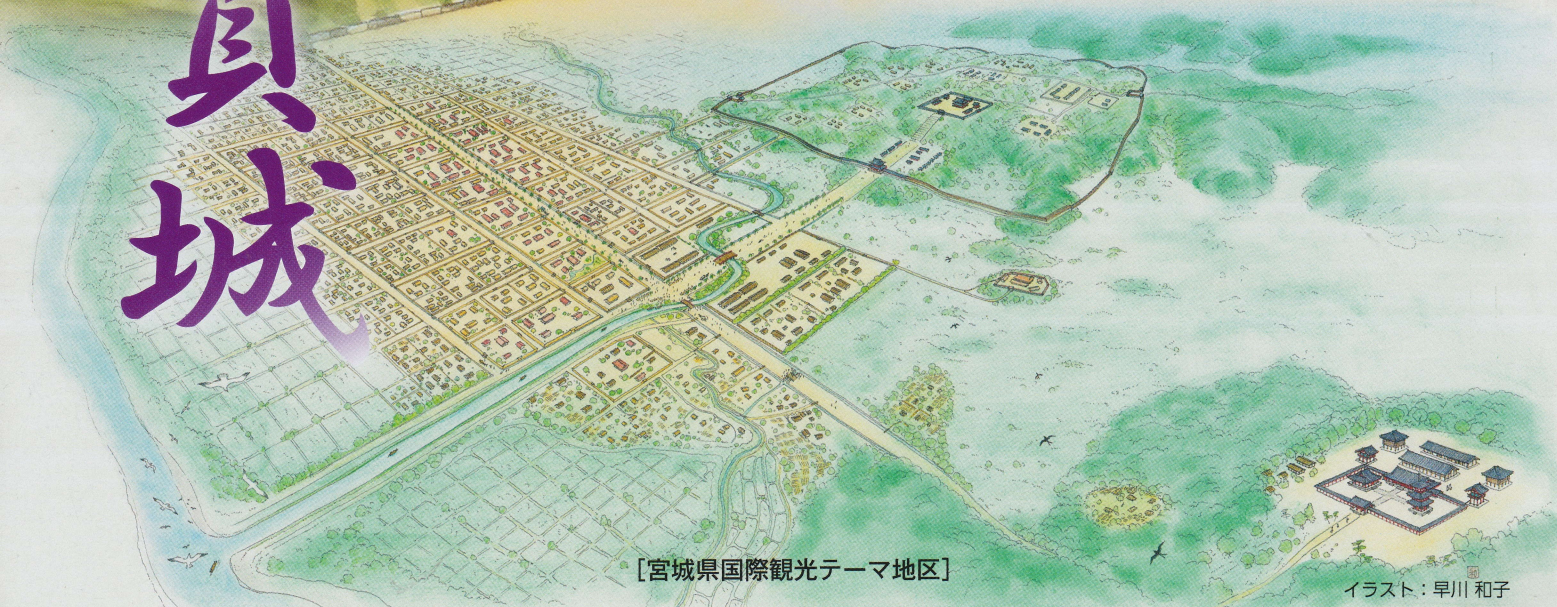


史都

歴史之都

多賀城

多賀城



[宮城県国際観光テーマ地区]

イラスト：早川 和子

遙か時間の壁を越え、人々の心をあつめた。 いにしへの歌枕…多賀城

多賀城は神亀元年(七二四)に陸奥の国府及び鎮守府として置かれ、約二百年の間、東北地方の政治・軍事の中心地でした。

奈良・平安の昔、都から多賀城に赴任した人々が、周辺の美しい自然を歌に詠みこんだことから、多賀城は都人たちのあこがれを集め広く親しまれていました。この時代の和歌に詠まれ全国的に知られた名所は「歌枕」と呼ばれ、多賀城の周辺は歌枕の多いことで知られています。

◆多賀城碑(別称「壺の碑」)

むつのくのおくゆかしくそおもほゆる
つほのいしふみそとのほまかせ

山家集 西行法師

「多賀城碑」は「壺碑」とも呼ばれ、日本三古碑の一つに数えられています。京や諸国から多賀城までの距離、多賀城の創建、修造などが百四十一文字で刻まれています。

◆野田の玉川

ゆふさればしほ風こして
みちのくのだの玉河千鳥なくなり

新古今和歌集 能因法師

全国にある「六玉川」の一つであり、千年ほど前はこのあたりまで海の潮が満ち干して、月見にはこのうえない場所だったと考えられています。

◆末の松山

ちぎりきなかたみにそでをしほりつつ
す糸のまつ山なみこさじとは

後拾遺和歌集・清原元輔

「末の松山」は八幡地区にある宝国寺裏の丘にあり、今も松の木が天高くそびえ昔日の名残をとどめています。この歌は百人一首にも入っている有名な和歌で、俳聖・松尾芭蕉も「おくのほそ道」紀行の中で訪れています。

◆沖の井(沖の石)

わが袖はしほひにみえぬおきの石の
人こそしらねかわくまごごなき

千載和歌集 二条院讃岐

この歌も百人一首に入っている有名な和歌で、「沖の井(沖の石)」は「末の松山」近くにある奇石が連なる池のこと。大きな石が、今日も不思議をとどめて残されています。

◆おもわくの橋

ふま、うきもみちのにしきちりしきて
人もかよわぬおもほくのはし

山家集 西行法師

野田の玉川のせせらぎに架けられた「おもわくの橋」には、前九年の合戦で知られる安倍貞任と恋人の「おもわく」との恋物語が伝えられています。

◆大伴家持と多賀城

大伴の遠つ神祖の奥津城は
しるく標立て人の知るべく

万葉集 大伴家持

延暦元年(七八二)、歌人としても知られた大伴家持は陸奥按察使兼鎮守將軍として多賀城に赴任します。戦乱で荒廃した陸奥国の復興に努め、延暦四年(七八五)、この地で没しています。この歌は越中守であったころ「大伴の先祖の墓は後の人々に分かるように

はつきりとしるせ」と詠んだ歌であり、家持をしるんで、多賀城市文化センター内にその歌碑が建てられています。



大伴家持万葉歌碑
大伴家持萬葉歌碑

西

多賀城

京を去ること一千五百里

蝦夷国界を去ること一百二十里

常陸国界を去ること四百十二里

下野国界を去ること二百七十四里

靉靄国界を去ること三千里



穿越遙遠的時空，凝聚人們的心。

多賀城設置於神龜元年（七二四），當時是作為陸奧國的國府及鎮守府，長達約兩百年期間，一直是東北地方的政治與軍事中心。

過去奈良、平安時代，從都城前往多賀城赴任的人們將當地周邊優美的自然風景作成詩歌詠唱，使得都城人士無不心生嚮往，多賀城也因此廣為人知。

經由此一時代的和歌詠唱而使知名度擴及全國的名勝就稱作「歌枕」。多賀城周邊便以座落著許多歌枕而聞名。

古代的歌枕…多賀城

◆多賀城碑（別名「壺之碑」）

「多賀城碑」又稱「壺碑」，是日本三大古碑之一。

碑上刻有一百四十一字，記載京都與諸國到多賀城之間的距離，以及多賀城創建、修造等歷史。

◆野田玉川

分布於全國各地的「六玉川」之一，約一千年前，海水潮汐會一直退到這一帶，被譽為是最佳賞月景點。

◆末之松山

「末之松山」位於八幡地區寶國寺後方的山丘，直聳雲霄的松樹仍舊保留著昔日風情。這首歌也有收入『百人一首』中，是非常著名的和歌，俳聖松尾芭蕉在「奧之細道」紀行中也曾造訪當地。

◆沖之井（沖之石）

這首歌也是收入『百人一首』的著名和歌。「沖之井（沖之石）」鄰近「末之松山」，是處奇石並立的水池。這些大石至今仍保留著奇特樣貌。

◆思惑橋

橫跨於野田玉川之上的「思惑橋」流傳著因「前九年合戰」而廣為人知的安倍貞任與情人「思惑」之間的愛情故事。

◆大伴家持與多賀城

延曆元年（七八二），兼具著名歌人身份的大伴家持遠赴多賀城就任陸奧按察使兼鎮守將軍。他致力於復興因戰亂而荒廢的陸奧國，於延曆四年（七八五）歿於當地。這首歌是他仍擔任越中守時所作，意思是「要清楚標示大伴祖先之墓，好讓後世人們能夠辨別」。為了記念家持，多賀城市文化中心內亦有建立歌碑。



① 野田の玉川
野田玉川

歌枕として詠まれた、塩竈市との境を流れる小川です。「水・緑景観モデル事業」として改修整備が行われ、市民いこいの場となっています。

流經鹽竈市邊界的小河，被作為歌枕詠唱著。「水・綠景觀模範事業」計劃中曾進行改造整頓，如今則成為市民休憩的場所。



② 末の松山
末之松山

「末の松山」は、恋愛をテーマにさまざまな歌に多く詠み込まれた歌枕。20以上もの有名な和歌が伝えられています。

「末之松山」是出現在多首以戀愛為主題之和歌中的歌枕。有20首以上著名和歌流傳至今。



③ 沖の井（沖の石）
沖之井（沖之石）

「末の松山」近くにある奇石が連なる池。和歌に詠まれて名所となり、江戸時代には保護するために守人も置かれていました。

位於「末之松山」附近，是處奇石並立的水池。經和歌詠唱而成為名勝，江戸時代為了保護此處，還特別設置了看守。



④ おもわくの橋
思惑橋

歌枕「野田の玉川」に架かる橋で、前九年の役で有名な安倍貞任が恋人と待ち合わせたという伝説から「安倍の待橋」とも呼ばれます。

橫跨於歌枕「野田玉川」之上的橋樑。因為流傳著以「前九年之役」而成名的安倍貞任與情人約會的傳説，因而又稱為「安倍待橋」。

此城は神龜元年：
大野朝臣東人の置くところなり…。

（多賀城碑・碑文より冒頭の一節）



多賀城

京を去ること一千五百里
蝦夷国の界を去ること二百一十里

常陸国の界を去ること四百十二里

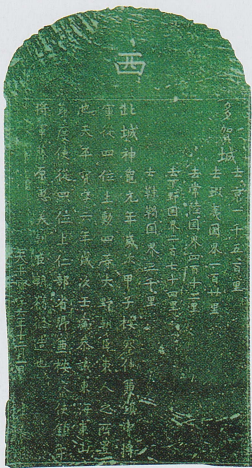
下野国の界を去ること二百七十四里

靉靺国の界を去ること三千里

西

此城は、神龜元年、歳は甲子に次る 按察使兼鎮守將軍
從四位上 勳四等大野朝臣東人の置く所也。天平宝字六年、
歳は壬寅に次る 参議東海東山節度使從四位上 仁部
省卿兼按察使鎮守將軍藤原忠美朝臣朝獮、修造する也。

天平宝字六年十二月一日



5 多賀城碑 (壺碑)

多賀城碑 (壺碑)

高さ248センチ、最大幅103センチのこの石碑は西暦762年に建立され、覆屋の中に西を正面にして立っています。京などから多賀城までの距離及び大野東人(おおののあずまひと)が多賀城を創建し、藤原朝獮(ふじわらのあさかり)が修造したことなどが141文字で刻まれています。日本三古碑のひとつ。

(国重要文化財)

此塊石碑高248公分、最寛處為103公分、設立於西元762年、面西座落於可遮蔽風雨的覆屋中。上面刻有141字、記述從京城等地到多賀城的距離、以及大野東人創建多賀城、藤原朝獮修造等事蹟。日本三大古碑之一。

(國家重要文化財)

※關於以上的訓讀文/「京」指奈良的平城京，蝦夷國指宮城縣北以北的區域，常陸、下野各指現今的茨城縣與栃木縣，靉靺國指中國東北部。奈良時代的1里約為535公尺。

『北の要衝』為政者が訪れたまち。

「多賀城」の名が初めて文献に現れるのは、『続日本紀』の宝龜十一年(七八〇)三月二十二日条のことです。多賀城の創建は奈良時代前半と考えられていましたが、発掘調査の結果や多賀城碑の研究から、現在では神龜元年(七二四)とされています。多賀城には陸奥国の国府が置かれ、蝦夷征討政策にあたった鎮守府も置かれていたことがわかっています。

多賀城は宝龜十一年の伊治公弼麻呂の反乱で焼失しますが、まもなく再建されます。延暦二十一年(八〇二)、鎮守府が坂上田村麻呂によって胆沢城

(岩手県奥州市)に移された後も、国府の役割を果たしていました。平安時代の中頃に過ぎると「多賀城」の名は正史上で確認できなくなり、やがて「多賀国府」の名が現れるようになります。文治五年(一一八九)、奥州藤原氏が攻め滅ぼした源頼朝も多賀国府に立ち寄り戦後の処置を命じたことが『吾妻鏡』に記されています。南北朝時代には北畠顕家の奥州小幕府として名をとどめますが、徐々に荒廃し、歴史の中に埋もれて行くのです。

『おくのほそ道』紀行で、芭蕉の眼に映った多賀城。

俳聖・松尾芭蕉は、江戸時代の元禄二年(一六八九)三月、四十六歳にして、歌枕の地を訪ねる「おくのほそ道」へ旅立ちました。

芭蕉と随員の曾良が多賀城に入ったのは五月八日(陽曆六月二十四日)のこと。多賀城に着いた芭蕉と曾良は、古くから歌枕に詠み込まれた「壺碑」を見つけ吸い込まれるように近づいて「つぼの石ぶみは、高廿六尺余、横三尺斗カ。昔を穿て文字幽也。…」と、「おくのほそ道」に書きつけています。漂泊の詩人ともいわれた芭蕉は、

芭蕉と曾良は「壺碑」から塩竈に向かい、食事をとった後、再び多賀城に戻り、「野田の玉川」「浮島」「おもわくの橋」「末の松山」「沖の井(沖の石)」と歌枕の地をめぐっています。

多賀城の栄華の日々を思い、人間の歴史が織りなす無常と、この地を訪れた古人の心境に思いをはせたのでしょうか。その芭蕉の心理と感慨の深さが、同書の「むかしよりよみ置ける歌枕、おほく語伝ふといへども、山崩川流て道あらたまり、石は埋て土にかくれ、木は老て若木にかはれば、時移り代変じて、其跡たしかならぬ事のみを、爰に至りて疑なき千歳の記念、今眼前に古人の心を閲す。行脚の一徳、存命の悦び、羈旅の勞をわすれて涙も落るばかり也。」という一文から想像できるので

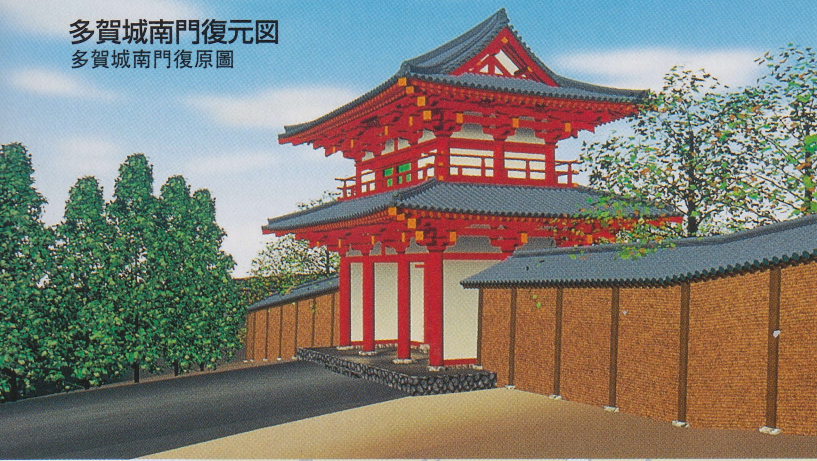
みちのくを旅する

松尾芭蕉

(絵は俳人の書画美術「蕪村」から)
踏上陸奥之旅
松尾芭蕉
(圖書取自俳人書畫美術「蕪村」)



多賀城南門復元圖
多賀城南門復原圖



6 多賀城跡（政庁跡）

多賀城遺址（政廳遺址）

約900m四方に及ぶ多賀城跡の中央に約100m四方の政庁跡があります。政庁は古代多賀城の中樞部分で、創建以降3回建て替えられたことが発掘調査でわかっています。(特別史跡)

約900公尺見方の多賀城遺址中央、有一處約100公尺見方の政廳遺址。政廳是古代多賀城的中樞部分，根據挖掘調查得知，自創建以後曾改建過3次。(特別史蹟)



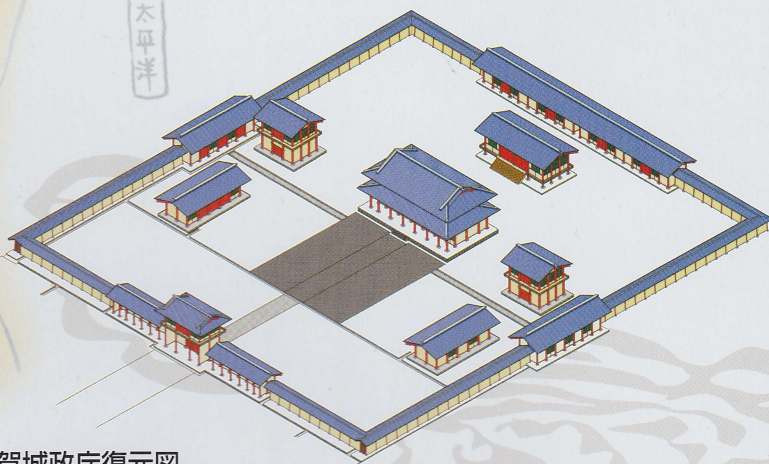
7 多賀城廢寺跡

多賀城廢寺遺址

政庁跡の南東1kmにあり、奈良時代のはじめに多賀城の附属寺院として建立されたもので、伽藍配置は大宰府の付属寺院・観世音寺（福岡県）に似ています。現在は史跡公園となっています。(特別史跡)

位於政廳遺址東南1公里處，建造於奈良時代初期，為多賀城附屬寺院，伽藍配置類似大宰府的附屬寺院觀世音寺（福岡縣）。現在成為史蹟公園。(特別史蹟)

多賀城政庁復元圖
多賀城政廳復原圖



『北方要衝』主政者造訪的城市。

「多賀城」之名首度出現於文獻當中是在『續日本紀』的寶龜十一年（七八〇）三月二十二日條。多賀城的創建原本被認為是在奈良時代前期，但根據挖掘調查的結果與多賀城碑的研究，目前普遍認為應是建於神龜元年（七二四）。已知多賀城曾設置陸奧國的國府，也曾因應征伐蝦夷政策而設置鎮守府。

多賀城在寶龜十一年因伊治公麻呂的叛亂而燒毀，但不久便獲得重建。延曆二十一年（八〇二），坂上田村麻呂將鎮守府移往膽澤城（岩手縣奧州市）後，多賀城仍扮演國府的角色。過了平安時代中期，「多賀城」的名稱就未再出現於正史當中，之後則是以「多賀國府」的名稱出現。

『吾妻鏡』當中記載，文治五年（一一八九）源賴朝攻滅奧州藤原氏之後也曾來到多賀國府，下達戰後處置的命令。到了南北朝時代，以北畠顯家的奧州小幕府而留名，但其後逐漸荒廢，埋沒於歷史的洪流當中。

『奧之細道』紀行中，芭蕉眼裡所見的多賀城。

俳聖松尾芭蕉在江戶時代的元祿二年（一六八九）三月，時年四十六歲，踏上了造訪歌枕之地「奧之細道」的旅程。芭蕉與同行的曾良是在五月八日（陽曆六月二十四日）進入多賀城。到達多賀城的芭蕉和曾良找到自古便被推崇為歌枕的「壺碑」，並深深受到吸引，在「奧之細道」記載「壺碑高六尺余，橫三尺。文字穿透青苔幽然可見……」有漂泊詩

人之稱的芭蕉或許是懷想起多賀城榮華的歲月，思索人類歷史交織的無常以及造訪此地的古人心境吧。

芭蕉心中感慨之深可以從該書當中的以下段落發現一二：「自古歌詠的歌枕雖有許多言語流傳，但山崩水流而道路變化，石頭埋沒於砂土中，樹木枯老而被新樹取代，物換星移，其遺跡往往不甚明確；然而，到此卻能親眼見到千年紀

念碑，宛如接觸到古人心靈。這全是行腳之所得、生存之喜悅，讓我忘卻旅途疲憊、感動落淚。」

芭蕉與曾良從「壺碑」前往鹽竈，用過餐後再度回到多賀城，遊歷「野田玉川」、「浮島」、「思惑橋」、「末之松山」、「沖之井（沖之石）」等歌枕之地。

歴史之都

多賀城

多賀城 史都ガイド

史都・多賀城。
 多くの官人や文人の足跡から、
 この地が、かつて東北最大のまちであり、
 奈良・京都の都からはるか遠くにある
 あこがれの地として
 深く印象づけられていました。
 いま、多賀城のまちを歩けば、
 そこかしこに
 いにしえの人々のささやきが
 聞こえてきそうです。



① 国府多賀城駅

国府多賀城駅

平成13年秋、多賀城市の歴史観光の玄関口としてJR東北本線・東北歴史博物館北側に完成し、駅名は市民から親しまれるように公募し決定されたものです。多賀城政庁跡や多賀城碑、あやめ園にもほど近く、多賀城観光がさらに便利になりました。

於平成13年秋天落成、位在JR東北本線、東北歴史博物館北側、為了使市民更有親切感、站名是經由公投決定。距離多賀城政廳遺址與多賀城碑、菖蒲園都不遠、讓多賀城觀光更加便利。

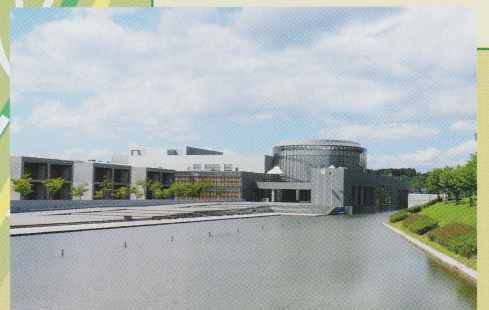


至塩竈市
往鹽竈市

下馬駅
下馬站

凡例 圖例

- 神社 神社
- 寺院 寺院
- 銀行 銀行
- 郵便局 郵局
- 学校 學校
- コンビニエンスストア 便利商店
- ガソリンスタンド 加油站
- 駐車場 停車場
- トイレ 洗手間



⑫ 東北歴史博物館

東北歴史博物館

東北地方全域を視野に入れた歴史系博物館。旧石器時代から現代までの歴史を中心とした展示、映像上映を行っており、移築・復元した古民家では東北の伝統文化を幅広く紹介しています。

- 利用時間◎午前9時30分～午後5時(入館は4時30分まで)
- 観覧料 ◎個人/一般400円、小・中・高校生は無料
◎団体/一般320円
※団体は20人以上です。
- 休館日 ◎月曜日(祝日を除く)
◎12月29日～翌年1月4日
- 電話 022-368-0106

視野遍及東北地方全區の歴史博物館。以舊石器時代到現代的歷史為中心，除了展示之外，也會播放影像。在歷經移建、復原的古民宅中，則廣泛地介紹東北的傳統文化。

陸奥総社宮
陸奥總社宮

P WC 9

多賀城跡あやめ園
多賀城遺址菖蒲園

館前遺跡
館前遺址

観光案内所
觀光導覽所

東北歴史博物館
東北歷史博物館

多賀城鹿寺跡
多賀城廢寺遺址

多賀城史遊館
多賀城史遊館

多賀城市文化センター
(埋藏文化財調査センター)
多賀城市文化中心
(埋藏文化財調查中心)

農協[JA]
農協[JA]

観光案内所
觀光導覽所

末の松山
末之松山

沖の井(沖の石)
沖之井(沖之石)

至仙台市
往仙台市

至仙台北I.C.
往仙台北I.C.

多賀城と周辺地域とのかかわり

多賀城周辺は、東北の歴史とかかわりのある史跡文化財が多く、奥州一宮と呼ばれる鹽竈神社、伊達政宗公ゆかりの仙台青葉城跡、松島の五大堂や瑞巖寺などは全国にも有名です。また、国際的な海浜保養地・七ヶ浜や、梨の産地・利府では新しい観光や味覚を楽しむことができます。

多賀城與周邊地區的關連

多賀城周邊有許多和東北歷史有關的史蹟文化財，譬如被稱作「奥州一宮」的鹽竈神社、與伊達政宗有著深厚淵源的仙台青葉城遺址、松島五大堂以及瑞巖寺等，都是全國知名的景點。另外也有國際級的海濱療養地七濱以及梨子盛產地利府等，可以享受全新觀光體驗與美食。



鹽竈神社(鹽竈市)
鹽竈神社(鹽竈市)



青葉城址(仙台市)
青葉城遺址(仙台市)



五大堂(松島町)
五大堂(松島町)



国際村(七ヶ浜町)
国際村(七濱町)



梨園(利府町)
梨園(利府町)



8 加瀬沼
加瀬沼

多賀城跡の北にある周囲約4kmの沼で、江戸時代に水田用水池として造られました。今日では公園も整備され、釣りやピクニックに、四季を通じて親しまれています。農林水産省の「ため池百選」の一つに選ばれています。

位於多賀城遺址北方、周長約4kmの沼澤，是江戸時代建造的水田用水池。今日則整頓為公園，可在此釣魚、野餐，四季都吸引許多遊客造訪。獲選農林水産省的「蓄水池百選」之一。



9 陸奥總社宮
陸奥總社宮

国司みずから祭り事を行った神社で、鹽竈神社に詣でる前に参詣しないと神の加護がないと伝えられています。陸奥国内の延喜式内社100社の神を合祀しています。

由國司親自主持祭典的神社，據說在參拜鹽竈神社之前如果没有先參拜此地，將無法得到神明加持。合祀著陸奥國內100座延喜式内社的神明。



8 加瀬沼
加瀬沼

6 多賀城跡(政庁跡)
多賀城遺址(政廳遺址)

5 多賀城碑(壺の碑)
多賀城碑(壺の碑)

10 多賀城跡あやめ園
多賀城遺址菖蒲園

多賀城跡の一角にあり、あやめ・花菖蒲など250種、200万本が咲き乱れ、市民や観光客の目を楽しませます。シーズンには、「多賀城跡あやめまつり」が開催されます。

位於多賀城遺址一隅。園内250種、約200萬株菖蒲與花菖蒲等花朵爭相競豔，讓市民及觀光客大飽眼福。花季時會舉辦「多賀城遺址菖蒲祭」。

13 漏刻モニュメント・南北大路
漏刻記念碑、南北大路

奈良時代の宝龜5年(774年)、陸奥國に漏刻を置いたことが「續日本紀」に記されています。漏刻とは水時計のことで、東北支配の中樞機關であった多賀城におかれていたと考えられています。多賀城に通じる古代の幹線道路「南北大路」の側に漏刻を模したモニュメントが設置されています。

「續日本紀」當中記載，奈良時代寶龜5年(774年)曾在陸奥國設置漏刻。漏刻即水鐘，研判應是設置在統治東北的中樞機關多賀城。今日在通往多賀城的古代幹線道路「南北大路」路旁，設有模擬漏刻的紀念碑。





あなたの旅をサポートする観光協会加盟店

タクシー会社

- 多賀城交通(株) Tel.022(362)0165
- (有)臨海タクシー Tel.022(364)3575
- (有)振興タクシー Tel.022(364)3355
- (株)塩釜東光タクシー Tel.022(362)6760

一般貸切バス

- (株)仙塩交通
多賀城市町前2丁目2-5 Tel.022(366)5666

宿泊施設

- ホテルキャッスルブラザ多賀城
多賀城市桜木1丁目1-60 Tel.022(367)1111
- サンホテル多賀城
多賀城市八幡4丁目7-52 Tel.022(362)3131
- 小野屋ホテル
多賀城市大代1丁目9-2 Tel.022(362)6381
- 新富旅館
多賀城市桜木1丁目1-28 Tel.022(364)8921
- ビジネスホテル HANAOKI
多賀城市八幡4丁目8-33 Tel.022(364)8830
- ホテルルートイン仙台多賀城
多賀城市町前1丁目1-15 Tel.022(361)8501
- プレミアイン仙台多賀城
多賀城市町前1丁目1-8 Tel.022(367)6001
- スマイルホテル塩釜
塩釜市新富町18-31 Tel.022(363)7711

観光コース案内(史跡めぐりタクシーコース)

◎Aコース【所要時間2時間30分】

JR仙石線 多賀城駅⇒多賀城市文化センター(埋蔵文化財調査センター)⇒多賀城廃寺跡⇒陸奥総社宮
⇒多賀城跡(政庁跡)⇒多賀城碑(壺碑)⇒多賀城跡あやめ園 ※初夏⇒東北歴史博物館⇒JR仙石線 多賀城駅

◎Bコース【所要時間2時間】

JR仙石線 多賀城駅⇒多賀城市文化センター(埋蔵文化財調査センター)⇒多賀城史遊館⇒多賀城廃寺跡
⇒末の松山・沖の井(沖の石)⇒八幡神社⇒仙台港⇒JR仙石線 多賀城駅

◎Cコース【所要時間2時間】

JR仙石線 多賀城駅⇒多賀城市文化センター(埋蔵文化財調査センター)⇒多賀城史遊館
⇒多賀城碑(壺碑)⇒多賀城跡(政庁跡)⇒塩竈神社⇒JR仙石線 本塩釜駅

JR線でのアクセス

■仙石線	仙台駅	22分	多賀城駅	19分	松島海岸駅
■東北本線	仙台駅	14分	国府多賀城駅	10分	松島駅

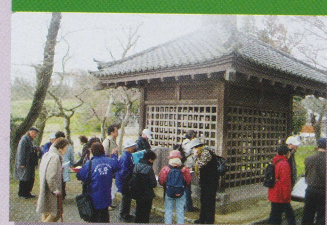
(多賀城碑、多賀城跡、東北歴史博物館をご見学のお客様は国府多賀城駅が最寄り駅です)

車でのアクセス

- 東北自動車道 仙台南IC 仙台南道路 仙台若林JCT 仙台東部道路 仙台港北IC 国道45号 多賀城まで約40分
- 一般道 仙台 国道4号 苦竹IC 国道45号 多賀城まで約30分



観光ボランティアガイド



ボランティアガイドの案内により、多賀城跡や多賀城碑などの日本有数の歴史的文化遺産をより身近に感じてご覧いただくことができます。また、自転車で名所・旧跡を巡りたい方のためにレンタサイクルを用意しております。

ボランティアガイド

- 予約案内時間
年末年始の休業日を除く午前8時半から午後5時まで。
- ガイド料
ガイド料は無料です。ただし、ガイド随行に必要な有料施設への入場料などの実費は、利用者の方に負担していただきます。

- 予約申込方法
ガイドを希望する日の10日前までに電話またはファクスで史都多賀城観光案内所(JR仙石線多賀城駅内)までお申し込みください。後日、こちらから内容などを含め詳細をお知らせいたします。ただし、10日前以降でもガイドの手配がつく場合はこの限りではありませんので、お気軽にお問い合わせください。

レンタサイクル

- 料金
1時間につき100円。ただし貸し出し前に保証料1000円をお預かりします(自転車ご返却の際にお返しします)。
- 貸出場所と利用時間
◎史都多賀城観光案内所(JR仙石線多賀城駅内)
10:00～17:00
◎史都多賀城観光案内所(JR東北本線国府多賀城駅北側)
10:00～15:00

多賀城市・多賀城市観光協会

〒985-8531 宮城県多賀城市中央2-1-1 TEL.022(368)1141(代) FAX.022(368)9069
多賀城市◎ホームページ <http://www.city.tagajo.miyagi.jp> ◎Eメール kanko@city.tagajo.miyagi.jp
多賀城市観光協会◎ホームページ <http://www.tagakan.jp/> ◎Eメール info@tagakan.jp

史都多賀城観光案内所

【JR仙石線 多賀城駅内】
〒985-0873 宮城県多賀城市中央2-7-1 TEL.022(364)5901 FAX.022(364)9905 開所時間/10:00～17:00
※但し12:00～13:00と年末年始の休業日は閉所

【JR東北本線 国府多賀城駅北側】
〒985-0861 宮城県多賀城市浮島1-9-22 開所時間/10:00～15:00
※但し12:00～13:00と年末年始の休業日は閉所